



株式会社ヤクルト本社
第63期 株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 連結財務諸表
- 09 特集「創業80周年のあゆみ」
- 11 ヤクルトのネットワーク
- 13 商品紹介
- 19 コラム「ヤクルトの未来～Yakult Vision 2020～」
- 21 会社情報



ごあいさつ



代表取締役会長 CEO

堀 澄也



代表取締役社長 COO

根岸 考成

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年6月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

当期について

当連結会計年度におけるわが国経済は、昨年4月の消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動による個人消費の弱さがみられたものの、企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は3,679億円(前期比5.0%増)となりました。利益面におきましては、営業利益は348億円(前期比9.0%増)、経常利益は456億円(前期比15.4%増)、当期純利益は250億円(前期比11.1%増)となりました。

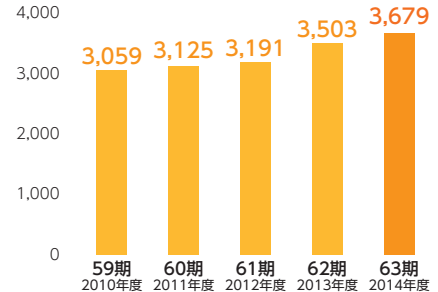
次期について

日本国内における乳製品については、宅配チャネルにおいては「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」、店頭チャネルにおい

連結業績ハイライト

●売上高

(億円)



では「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーハーフ」を中心に、乳製品乳酸菌飲料のパイオニアとしてさらなるブランド強化を図っていきます。

海外においては、32の国と地域で主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っています。

既存事業所については、さらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。

医薬品については、がん化学療法剤「エルプラット」の進行・再発胃がんへの適応拡大が承認されたことを受け、積極的な情報提供活動により市場への浸透を図ります。また、がん化学療法剤「カンプト」の市場シェア維持や、骨病変治療薬の後発品「ゾレドロン酸ヤクルト」などの販路拡大を図るなど、がん領域に特化した販売活動に注力していきます。

| | 当期 | 次期の見通し |
|--------|----------------------------|-----------------|
| 売上高 | 3,679 億円(前期比 5.0%増) | 3,950 億円 |
| 営業利益 | 348 億円(前期比 9.0%増) | 390 億円 |
| 経常利益 | 456 億円(前期比 15.4%増) | 475 億円 |
| 当期純利益* | 250 億円(前期比 11.1%増) | 275 億円 |

※次期については、親会社に帰属する当期純利益

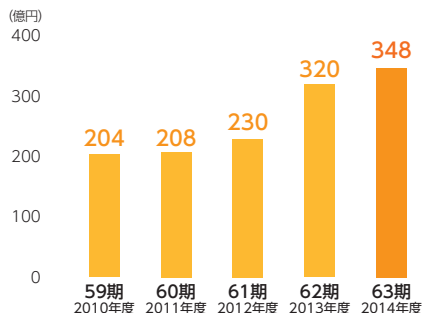
配当について

当社は、株主の皆さまに、安定的な配当を継続して実施していくことを最優先とするため、配当金額のベースを年額20円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績等を総合的に勘案して配当金額を決定しています。

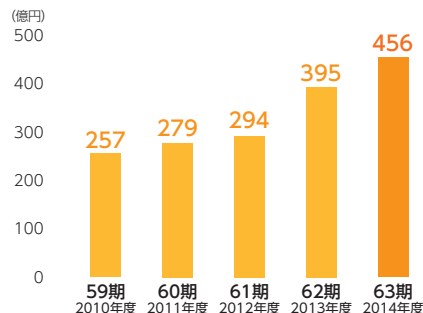
平成27年3月期の年間配当金額は、前期に比べて1株当たり1円増配の年額25円としました。すでに中間配当金12円50銭を実施していますので、平成27年3月期末の配当金については12円50銭となります。

また、次期の配当については、上記方針のもと、継続して株主の皆さまへの利益還元を図るため、増配を継続し、当期に比べて1株当たり5円増配の年額30円の普通配当の実施を予定しています。これに加え、平成28年3月期が当社グループ創業80周年を迎える年であることから、株主の皆さまの日頃のご支援に対する感謝の意を込め、1株当たり20円の記念配当を実施し、普通配当と合わせた1株当たりの配当金額を当期の倍となる年額50円とすることを予定しています。

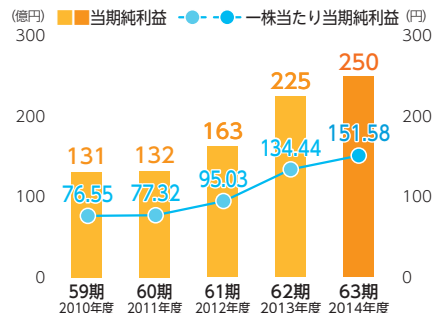
● 営業利益



● 経常利益



● 当期純利益／一株当たり当期純利益

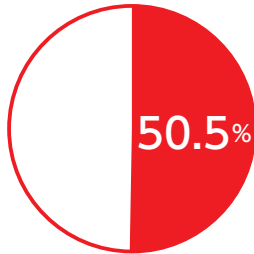




Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門（日本）



売上高構成比

当期

売上高

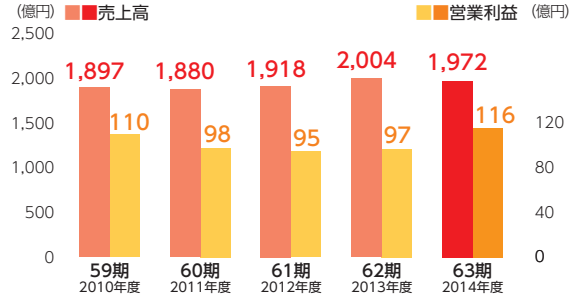
1,972 億円

(前期比：1.6% ↓)

営業利益

116 億円

(前期比：18.8% ↑)



乳製品については、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」などの科学性や価値を広く訴求するため、エビデンスを活用した「価値普及」活動を積極的に展開しました。

宅配チャンネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」を中心とした飲用体感促進型普及活動の推進に努めました。また、昨年8月から8年ぶりとなるヤクルトレディのテレビCMの放映をはじめとした広告出稿などを積極的に展開し、ヤクルトレディの仕事内容の魅力を発信し認知向上を図ることで、宅配組織の強化に努めました。

店頭チャンネルにおいては、プロモーションスタッフを活用したお客さまへの「価値普及」活動を展開しました。

商品別では、はっ酵乳「ミルミル」および「ミルミルS」のパッケージデザインをリニューアルしました。また、飲むヨーグルト「ジョア」およびハードタイプヨーグルト「ソフール」については、期間限定アイテムをそれぞれ発売し、両ブランドの鮮度アップを図りました。

ジュース・清涼飲料については、ヤクルトの乳性飲料「ミルージュ」シリーズをリニューアルするとともに、テレビCMを放映するなど、ブランドの活性化を図りました。また、機能性飲料「ぎゅっと健康」シリーズもリニューアルするとともに、新アイテム「ぎゅっと健康 アスタキサンチン」を発売し、ブランドの構築を図りました。

2015
NEWS
&
TOPICS

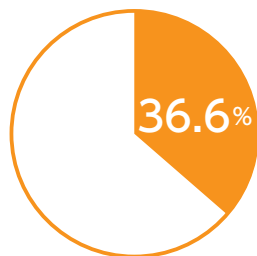
「ジョア」にディズニーキャラクターデザイン採用

ディズニープリンセスである「シンデレラ」デザインパッケージの「ジョア」を2015年4月20日から5月下旬までの期間限定で発売しました。さらに6月1日からは、「シンデレラ」デザインパッケージに続く第2弾となる「ディズニープリンセス」デザインパッケージの「ジョア」を7月下旬までの期間限定で発売しています。



© Disney

飲料および食品製造販売事業部門（海外）



売上高構成比

当期

売上高

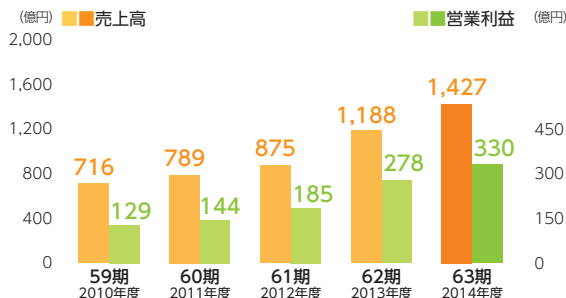
1,427 億円

(前期比：20.1% ▲)

営業利益

330 億円

(前期比：18.5% ▲)



米州地域

売上高 546億円 (前期比：11.0% ▲)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

米国においては、カリフォルニア工場での生産を開始し、商品の安定供給体制の強化を図るとともに、今後の事業の一層の拡大・深耕をめざしています。

アジア・オセアニア地域

売上高 791億円 (前期比：29.8% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

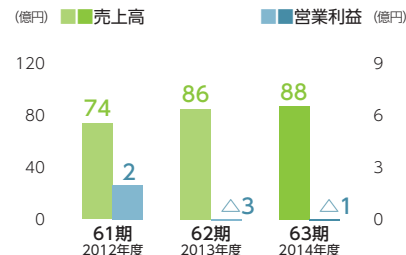
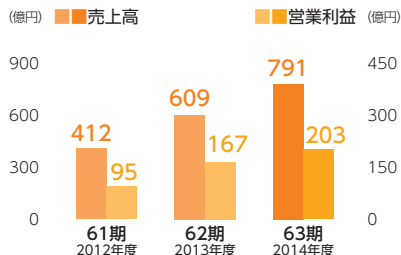
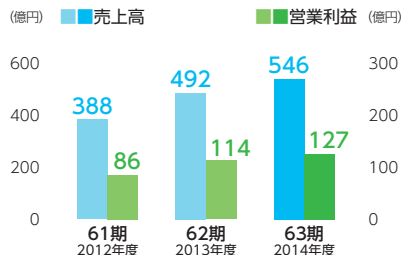
中国においては、「ヤクルト」の販売本数増加に伴い、天津ヤクルト株式会社（天津工場）の第2工場棟での生産を開始しました。また、江蘇省無錫市に新工場として無錫ヤクルト株式会社を設立し、本年6月から生産を開始しました。

ヨーロッパ地域

売上高 88億円 (前期比：3.0% ▲)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

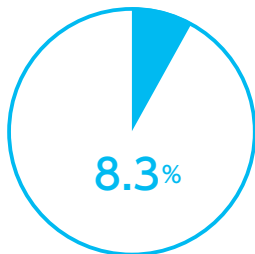
同地域では、ドイツ、オーストリアおよびオランダに続き、昨年5月から4か国目となるベルギーで、「ヤクルト」に食物繊維などを添加した高付加価値タイプの「ヤクルトプラス」の販売を開始しました。





Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当期

売上高

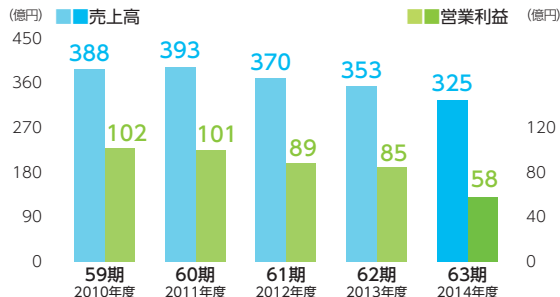
325 億円

(前期比：7.8% ↓)

営業利益

58 億円

(前期比：31.7% ↓)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルプラット」の進行・再発大腸がんに対する標準療法のさらなる浸透や、FOLFOXレジメンおよびXELOXレジメンによる術後補助化学療法の啓発を図るため、医療関係者を対象とした講演会や医局説明会などを積極的に開催しました。また、がん化学療法剤「カンプト」「エルプラット」および活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」を用いたFOLFIRINOX療法の痔がんへの適正使用を推奨する活動を推進しました。また、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタビンヤクルト」、抗悪性腫瘍剤「イマチニブヤクルト」および悪性腫瘍骨転移による骨病変治

療薬の後発品である「ゾレドロン酸ヤクルト」などの販路拡大に努め、売り上げの増大を図りました。

研究開発では、「エルプラット」の進行・再発胃がんへの効能・効果追加が承認され、適応症がさらに拡大しました。また抗悪性腫瘍剤の後発品である「ドセタキセルヤクルト」の製造販売承認を取得したほか、エテルナゼンタリス社から導入しているPI3K/Akt阻害剤「ペリフォシン」、4SC AG社から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」などのパイプラインの開発を推進し、今後、がん領域でのさらなる強固な地位の確立を目指します。

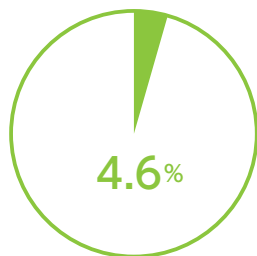
2015
NEWS
&
TOPICS

「さっぱり白ぶどうSparkling(スパークリング)」を新発売

果汁入り飲料「さっぱり」シリーズの新商品として、白ぶどう果汁入り炭酸飲料「さっぱり白ぶどう Sparkling(スパークリング)」を2015年3月30日より発売しました。白ぶどうの果実感とすっきりとした爽快感を味わえる炭酸飲料です。純水を使用することで、白ぶどう本来のおいしさを引き立たせています。白ぶどうの果実感と純水の透明感がマッチした、高品質感のあるデザイン。



その他事業部門



売上高構成比

当期

売上高

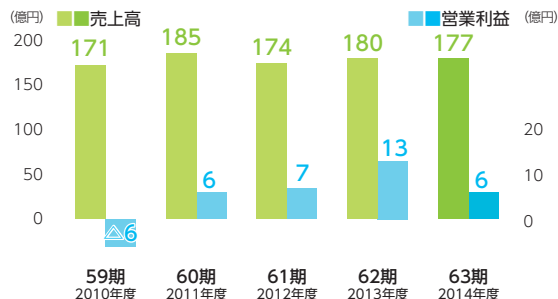
177 億円

(前期比：1.4% ↓)

営業利益

6 億円

(前期比：49.5% ↓)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の「価値普及」に重点をおき、基礎化粧品の主力ブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動を継続して展開しました。

また、昨年4月には保湿美容液「ベルフェ モイストチュア エッセンス」および日焼け止め商品「ヤクルト サンスクリーン

S.E.シリーズ」、同年11月には美白美容液「クリスタンス ホワイトリペア エッセンス」およびたっぷり美容液を含んだシートマスク「ヤクルト トリートメントリペア マスク」を発売し、売上げの増大を図りました。

一方、プロ野球興行については、神宮球場において各種イベントを通じたファンサービスの充実化やオフィシャルグッズショップのオープンなどにより、入場者数の増大と売上増加に努めました。

「プラチナケア S.E.ローション」を新発売

ヤクルトの乳酸菌由来のオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)*」を配合した「S.E.ローション」シリーズから、2015年4月21日、高機能化粧水「プラチナケア S.E.ローション」を発売しました。「保湿」に加え、お肌の黄ぐすみやハリ・弾力低下の原因となる糖化をおさえる「抗糖化」に着目し、お肌へのはたらきを高めました。使い続けるうちに、うるおいのあるみずみずしいお肌に導きます。

*乳酸菌は「酵エキス(ミルク) (成分名:ホエイ(2))」のこと





Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

単位：億円

| 科目 | 第62期 | 第63期 |
|--------------|--------------|--------------|
| | 平成26年3月31日現在 | 平成27年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 2,112 | 2,259 |
| 固定資産 | 3,082 | 3,533 |
| 有形固定資産 | 1,842 | 2,055 |
| 無形固定資産 | 60 | 64 |
| 投資その他の資産 | 1,179 | 1,413 |
| 資産合計 | 5,195 | 5,793 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 1,089 | 1,157 |
| 固定負債 | 1,026 | 1,014 |
| 負債合計 | 2,115 | 2,171 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 2,737 | 2,999 |
| 資本金 | 311 | 311 |
| 資本剰余金 | 415 | 415 |
| 利益剰余金 | 2,416 | 2,680 |
| 自己株式 | △405 | △407 |
| その他の包括利益累計額 | 10 | 250 |
| その他有価証券評価差額金 | 111 | 207 |
| 為替換算調整勘定 | △81 | 50 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △19 | △8 |
| 少数株主持分 | 332 | 371 |
| 純資産合計 | 3,080 | 3,622 |
| 負債・純資産合計 | 5,195 | 5,793 |

連結損益計算書

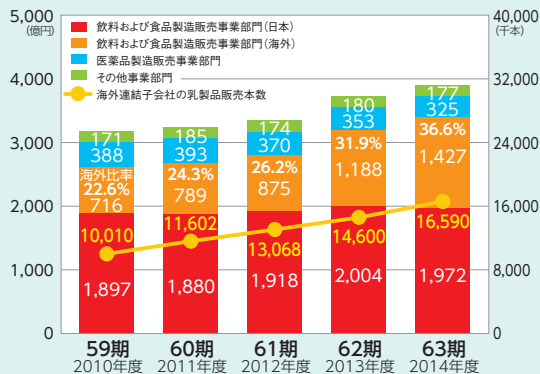
単位：億円

| 科目 | 第62期 | 第63期 |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで | 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで |
| 売上高 | 3,503 | 3,679 |
| 売上原価 | 1,563 | 1,649 |
| 売上総利益 | 1,939 | 2,029 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,619 | 1,680 |
| 営業利益 | 320 | 348 |
| 営業外収益 | 96 | 124 |
| 受取利息 | 22 | 26 |
| 受取配当金 | 11 | 13 |
| 持分法による投資利益 | 28 | 33 |
| その他 | 33 | 50 |
| 営業外費用 | 21 | 16 |
| 支払利息 | 7 | 8 |
| 支払手数料 | 6 | 0 |
| その他 | 7 | 8 |
| 経常利益 | 395 | 456 |
| 特別利益 | 13 | 6 |
| 固定資産売却益 | 12 | 5 |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別損失 | 14 | 10 |
| 固定資産売却損 | 1 | 0 |
| 固定資産除却損 | 7 | 7 |
| 減損損失 | 4 | 1 |
| その他 | 0 | 1 |
| 税金等調整前当期純利益 | 394 | 451 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 96 | 114 |
| 法人税等調整額 | 27 | 31 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 270 | 305 |
| 少数株主利益 | 45 | 54 |
| 当期純利益 | 225 | 250 |

平成27年3月期のポイント

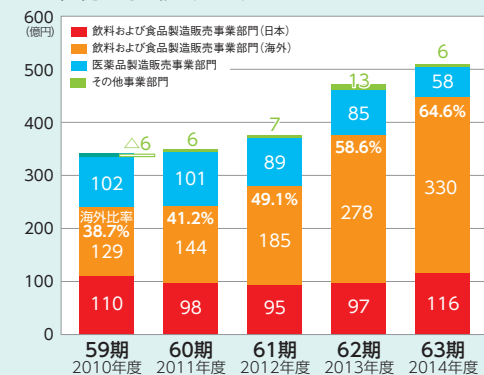
1. 全体では売上高・各段階利益ともに過去最高を更新し、増収・増益
2. 国内飲料は乳製品の価格改定効果があったものの、ジュース・清涼飲料の減少等により、減収・増益
3. 海外飲料はアジアを中心とした販売本数の大幅増加および為替の円安効果等により、増収・増益
4. 医薬品はエルプラットの消費税増税前需要の影響等により、減収・減益

売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

| 科目 | 第62期 | 第63期 |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで | 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで |
| ① 営業活動によるキャッシュ・フロー | 485 | 554 |
| ② 投資活動によるキャッシュ・フロー | △499 | △500 |
| ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー | 35 | △16 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 107 | 42 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 128 | 79 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 827 | 956 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | — | △2 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 956 | 1,034 |

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益451億円、減価償却費227億円等により554億円(前期比68億円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備および研究設備の新設等による固定資産の取得があったことにより△500億円(前期比1億円の支出増)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金および長期借入金が増加した一方で、配当金の支払い等があったことにより△16億円(前期比51億円の支出増)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索



乳酸菌とともに80年。

Yakultは乳酸菌とともに80年。
これからも乳酸菌のチカラを皆さまのもとへ
お届けします。

■ヤクルトのあゆみ

1930's-1950's

代田 稔博士が人の健康に
役立つ乳酸菌の強化培養
に成功(乳酸菌 シロタ株)



「ヤクルト」の製造・
販売を開始



1930

1935

●第二次世界大戦

(株)ヤクルト本社を設
立(東京都中央区西
八丁堀)

1955

●高度経済成長の
はじまり



1960's

ヤクルト独自の
婦人販売店システムを導入

台湾ヤクルト(株)
が営業開始
初の海外進出

1963

1964

●東京オリンピック
開催



プラスチック
新容器による
「ヤクルト」を発売

1968

1970's

はっ酵乳「ジョア」
を発売



1970

●沖縄返還実現
●札幌冬季
オリンピック開催
●大阪万博
開催

ビフィズス菌の直接
培養によるはっ酵乳
「ミルミル」を発売



1978

●日中平和友好
条約調印

●第二次
オイル
ショック

●第一次
オイルショック

■できごと

●日本無条件降伏(終戦)

ヤクルトのはじまり

ヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔が医学の道
を歩みだした1921年、その当時は日本はまだ豊かと
はいえず、衛生状態の悪さから感染症で命を落とす
子どもたちが数多くいました。

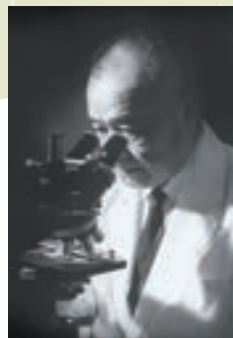
そんな現実に胸を痛めていた代田は、病気にかかっ
てから治療するのではなく、病気にかからないように
する「予防医学」を志し、微生物研究の道に入ります。

そこで乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発
見、これをさらに強化培養することに世界で初めて成
功します。それが、今日「乳酸菌 シロタ株」と呼ば

れる学名 ラクトバチルス カゼイ シロタ株という乳酸
菌です。

その後、生きて腸内に到達し有用な働きをする「乳
酸菌 シロタ株」を、一人でも多くの人々に摂取して
もらうため、有志とともに安価でおいしい乳酸菌飲料
として製品化し、1935年に乳酸菌飲料「ヤクルト」
が誕生しました。

世界の人々の健康を守りたい。代田 稔の情熱と発
想や飽くなき探究心は、今も、脈々と受け継がれて
います。



創始者 代田 稔博士
(1899-1982)

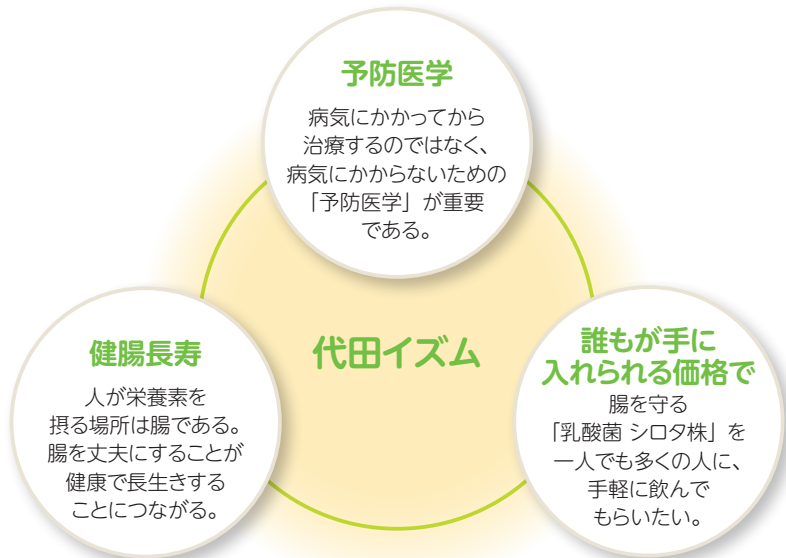


原点 代田イズムを礎に、世界に広がる「Yakult」

ヤクルトでは、創始者である代田の考えを「代田イズム」と呼び、現在もすべての事業の原点としています。現在は、しっかりと代田イズムを受け継ぎ「世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献する」という熱い想いを持っています。今日、この想いは、国内にとどまらず広く海外へも波及し、世界中で「Yakult」として親しまれています。

これからも私たちヤクルトは代田イズムとその想いを大切にしていきます。

いつの時代でも、世界中から信頼されるヤクルトであり続けるために。





Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む33の国と地域で、
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、
世界中で毎日3,000万人を超える方々(平成27年3月期 1日平均販売本数3,398万本)に
ご愛飲いただいています。

【世界の販売本数】



海外：2014年1月～12月の1日当たり平均本数
日本：2014年4月～2015年3月の1日当たり平均本数

EUROPE

▶国と地域：12 
▶1日当たりの販売本数：59万本

ヨーロッパ地域

- フランス
- スペイン
- オランダ
- ベルギー
- ルクセンブルク
- イギリス
- アイルランド
- ドイツ
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス

THE AMERICAS

▶国と地域：6 
▶1日当たりの販売本数：566万本

米州地域

- ブラジル
- ウルグアイ
- メキシコ
- ベリーズ
- アメリカ
- カナダ

JAPAN

日本 ▶1日当たりの販売本数：881万本 

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

▶国と地域：14 
▶1日当たりの販売本数：1,890万本 

- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- ニュージーランド
- マレーシア
- ベトナム
- インド
- 中国

株式会社ヤクルト本社

ヤクルト本社

★本店：1 ■支店：5

◆研究所：1 ▲工場：7

●販売会社 114社

(うち連結子会社 24社)

●ボトリング会社 5社 (連結子会社)

ヤクルトレディ 約 37,597人

ヤクルトビューティ 約 6,000人



【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社岡山和気ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ビー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 有限会社広島保険サービスセンター
- 株式会社はこだてわいん
- ヤクルトイースト・ロジスティクス株式会社
- ヤクルトウエスト・ロジスティクス株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
- 大船渡ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 墨田ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 福井ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社



Product Lineup

ヤクルト類



▲New
ヤクルト



▲Newヤクルト
カロリー-half



▲ヤクルト
400



▲ヤクルト
400LT



▲ヤクルト
ゴールド



▲ヤクルトAce

その他の乳製品



◀ミルミル

生きて大腸にとどく
ビフィズス菌を、1
本(100ml当たり)
に100億個以上含
んだ、飲むヨーグ
ルトです。飲みや
すいミルク風味に
仕上げています。



◀ミルミルS

生きて大腸にとどくビフ
ィズ菌を1本(100ml当
たり)に100億個以上含
んだ、飲むヨーグル
トです。ガラクトオリ
ゴ糖、食物繊維、鉄
、葉酸、コラーゲ
ンなどが摂取でき
ます。すっきりとし
たヨーグルト風味
です。

▼ジョア (プレーン、ストロベリー、ブルーベリー、マスカット)
生きて腸まで到達する乳酸菌 シロタ株が入った、飲むヨー
ルトです。



◀BF-1

ストレス社会で生きる、現代人
のために開発した、ビフィズス菌
(B.ビフィダム Y株)を使用し
た、乳製品乳酸菌飲料です。

▶プレティオ

血圧降下作用を有するGABA(γ-
アミノ酪酸)を1本に10mg以上
含む、血圧が高めの方におす
めの乳製品乳酸菌飲料です。



▼乳酸菌ソイα



ジョア▶
(食べるタイプ)
(アロエ、ブルーベリー)



▼ソファール (プレーン、LT、ストロベリー、元気ヨーグルト)



ジュース・清涼飲料



◀ 蕃爽麗茶
◀ 蕃爽麗茶
香ばし風味

グアバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適した健康茶飲料です。



▲アヤムラサキ



▲爽涼健茶



▲タフマンシリーズ (タフマン、タフマンV、タフマンスーパー、タフマンDRY)



◀ 白い黒酢ドリンク

▲黒酢ドリンク

純米熟成黒酢とうめ果汁を組み合わせ、ガラクトオリゴ糖を1個当たり2.5g含んだ特定保健用食品のビネガードリンクです。

▼オリゴ糖入り梅ドリンク



▼爽やか梅



▼ぎゅっと健康シリーズ

(アスタキサンチン、カシス、グルコサミン、紫蘇)



(期間限定)

▼ CHOBI (チョコビ)



▲レモリア

テアニン(緑茶の旨味成分)を含み、レモン果汁と7種のハーブエキスが程良く調和したリラックス飲料です。

▼ヤクルトの乳性飲料ミルージュシリーズ

(Ca125、200、280、ミルージュ、ホワイトミルージュ、ホワイトミルージュソーダ)



▼ラックミーシリーズ (調製豆乳、コーヒー、バナナ)



▼調製豆乳 国産大豆使用





Product Lineup

ジュース・清涼飲料



▲お茶



▲珈琲たいむシリーズ
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲マイルドシリーズ
(カフェ・オ・レ、いちご・オ・レ、
抹茶・オ・レ)



▲ココア
(期間限定)



▲コーン
ポタージュ
(期間限定)

▼きになる野菜シリーズ (緑黄色野菜ミックス、紫野菜ミックス、
手軽に野菜1日分、パインキャロット、ホワイトグレープキャベツ)



▼野菜ジュース
野菜ジュース(食塩無添加)



▼トマトジュース
(数量限定)



▼搾りたて
にんじん
(数量限定)



ミネラルチャージ▶



完熟王林▶
(数量限定)

◀(左から)
みかん・オレンジ
ジュース
アップルジュース
パイナップルジュース
グレープフルーツ
ジュース



▼ホットゆず&
日向夏
(期間限定)



▼さっぱりシリーズ
(りんご、
白ぶどう Sparkling)



健康食品



▲毎日うれしいケールの青汁



▲ごくごく飲める大麦若葉

▼ローヤルゼリー



▲マイタイム

▼サプリズムシリーズ (コラーゲン、PS、フコイダン、ブルーベリー&ルテイン、グルコサミン、マルチビタミン&ミネラル、DHA&EPA)



めん類

▼麺許皆伝シリーズ (しょうゆ味、みそ味、しお味、ソース焼そば)



▼神崎めんシリーズ (そうめん、ひやむぎ、中めん、うどん、そば)



▼手延そうめん



▼乾麺物語シリーズ (らーめん、とんこつしょうゆ味、うどん、カレーうどん、汁なし担々麺)





Product Lineup

医薬品

医療用医薬品



▲カンプト



▲エルプラット



▲ノイアップ



▲ゲムシタビン



その他

ヤクルトBL 整腸薬シリーズ



▲ヤクルトBL 整腸薬

▲ヤクルトBL 整腸薬S錠



▲アロエ便秘薬



▲71のチカラ

化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシィホワイト



▲リベシィ



◀プラチナケア
S.E.ローション



▶ラクトデュウ
S.E.ローション



▼ラクトデュウ
S.E.ヒアルロン
ジェル



▼ヤクルト
ビューティエンス
プリリアント
~ザ クリーム~

メイクアップ



◀パラビオ

▼グランティア EX



◀エジティックス
モイストリペア
エッセンス



▶ビスイクル
リフトリペア
エッセンス



▶パラビオ
ACクリーム
サイ



◀クリスタンス
ホワイトリペア
エッセンス

ボディケア

POSHMAMA
シリーズ

(左)薬用ハンドクリーム▶
(右)ファミリーサンスクリーン®





ヤクルトの未来

—Yakult Vision 2020—

当社は、2011年に10年後の会社のありたい姿およびめざす方向性を全従事者で共有し、企業経営における激しい環境変化に対応していくための道標として、長期ビジョンの策定を行いました。

食品（国内・海外）、医薬品、化粧品の3事業による2020年に向けた目標を策定することで、全社一丸となってグローバル企業としての成長をめざしていきます。



企業理念

私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

定性目標

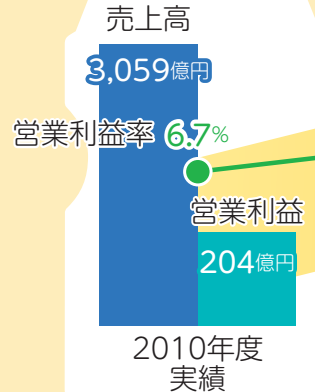
Yakult Vision 2020

—つくろう! ヤクルトのみらい—

- 地球上の一人でも多くの方たちに「健腸長寿」を普及しよう!
- 当社ならではの予防医学と治療医学の両輪で、「健康社会」を実現しよう!
- 最高の技術をまごころと感謝でお届けし、お客さまや私たちの「満足と幸せ」を創出しよう!

グローバル乳本数

2,750万本/日
(実績)



計画前

飛躍への助走期間

10年後をめざした基盤整備の展開

- 成長事業への経営資源（ヒト・モノ・カネ）の配分
- 実行性のある中期経営計画を通じた全社最適、プロセス重視、グループ利益意識の浸透
- 国内近代化の基盤づくり

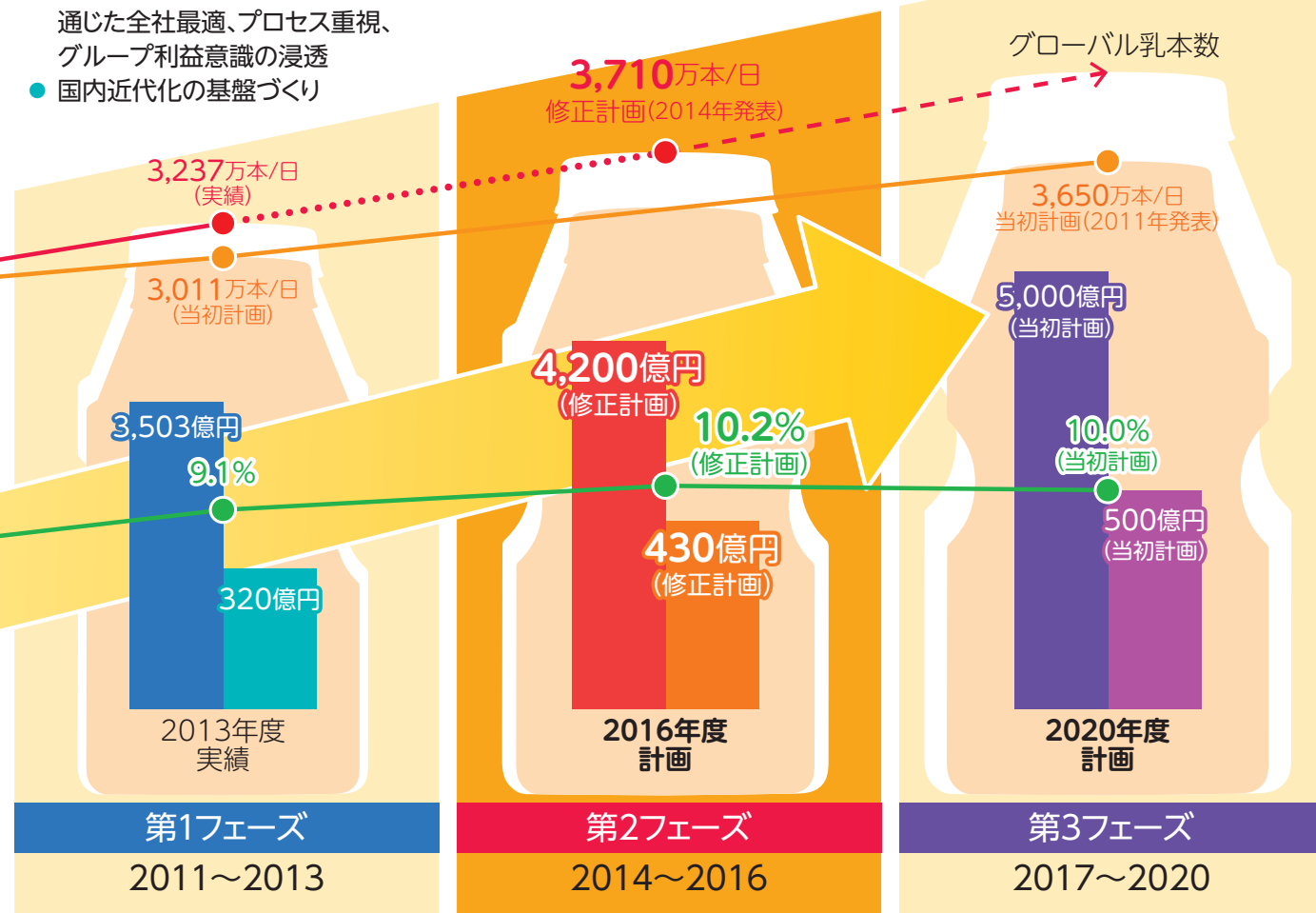
飛躍的な成長期間

- 投資の回収
- 国際事業の成長加速
- 医薬品事業におけるグローバル新薬候補の創出

長期ビジョンの達成期間

全社的なグローバル展開に基づく、
全社最適化

- 製品販売エリア拡大
- バリューチェーンのグローバル化
- 日々のオペレーションの現地化



会社概要

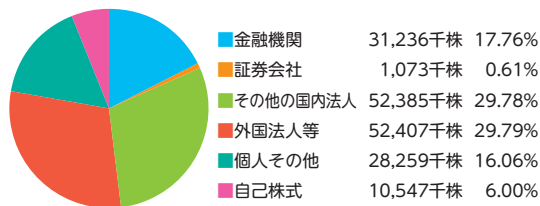
商号 株式会社ヤクルト本社
(Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574)8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,913人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者317人および嘱託143人を含んでいます。

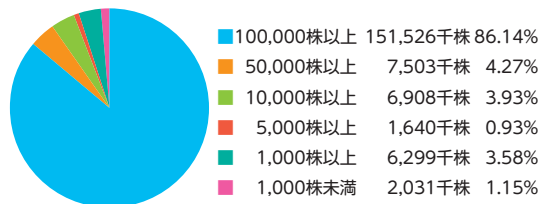
株式の状況

発行可能株式総数…………… 700,000,000株
発行済株式総数…………… 175,910,218株
株主数…………… 18,528名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員 (平成27年6月24日現在)

| | | | | | |
|----------------|-------|-----|-----------|-------|--------|
| 代表取締役会長 CEO | 堀 澄也 | 取締役 | リチャード ホール | 常勤監査役 | 阿部 晃範 |
| 代表取締役社長 COO | 根岸 孝成 | 取締役 | 安田 隆二 | 常勤監査役 | 山上 博資 |
| 取締役 | 川端 美博 | 取締役 | 福岡 政行 | 監査役 | 奥平 哲彦 |
| 取締役 | 成田 裕 | 取締役 | クリスチャン ノイ | 監査役 | 角屋 良平 |
| 取締役 | 椎野 健一 | 取締役 | ペトルアドオスライ | 監査役 | 谷川 清十郎 |
| 取締役 | 伊藤 正徳 | 取締役 | 松園 直史 | 監査役 | 小林 節子 |
| 取締役 | 若林 宏 | 取締役 | 前田 典人 | 監査役 | 吉田 宏一 |
| 取締役 | 石川 文保 | | | | |

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| パークレイズバンクピーエルシー シンガポール ノミニードン プロバイオティクス プライベート リミテッド | 35,212 | 20.02 |
| 株式会社フジ・メディア・ホールディングス | 6,492 | 3.69 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 | 4,957 | 2.82 |
| 松尚株式会社 | 4,917 | 2.80 |
| 共進会 | 4,464 | 2.54 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,951 | 1.68 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,842 | 1.62 |
| 麒麟ビバレッジ株式会社 | 2,458 | 1.40 |
| 株式会社みずほ銀行 | 2,186 | 1.24 |
| 中村輝夫 | 2,031 | 1.15 |

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。上表のほか、当社は自己株式10,547千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境・社会活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち**好きな商品を1品**進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち**好きな商品を2品**進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で主催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流戦2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100~999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

株主総会 定時株主総会 毎年6月中
臨時株主総会 必要に応じ随時

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告掲載方法 電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社

事務取扱場所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階)

(郵便物送付先) 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

東京証券代行株式会社 事務センター

(連絡先) ☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて 株券電子化にともない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960 (大代表) <http://www.yakult.co.jp/>